

Jan 2023

No. **97**

迎春 2023

とちぎ法人会だより

◆発行所 公益社団法人 栃木法人会
◆発行人 会長 山中 史朗
◆編集 広報委員長 植原 和信

〒328-0053 栃木市片柳町2-1-46(栃木商工会議所会館4F)
TEL (0282)24-3500 FAX (0282)24-3288

CONTENTS

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------------|
| 新年のご挨拶 栃木法人会 山中会長 … ② | 新会員の紹介/会社名、代表者、所在地、資本金 … ⑪ |
| 新年のご挨拶 平賀栃木税務署長 … ③ | 等変更のご連絡について/令和4年度会費納入のお願い/今後の法人会の主な行事予定 |
| 令和4年度 納税表彰式挙行/ … ④ | 7つの間違い探し |
| 第38回法人会全国大会(千葉大会)/青年 … ⑤ | 税理士会コーナー/第34回 エコ … ⑫ |
| 部会 第36回全国青年の集い(沖縄大会) | ライブ講座 |
| 各地区会活動 …… ⑥ | 税務署からのお知らせ …… ⑬ |
| 秋のセミナー/女性部会セミナー … ⑨ | インターネットセミナーのご案内/ … ⑭ |
| 税制改正提言活動 …… ⑩ | 第11回 税に関する絵はがきコンクール |
| | 小学生「税に関する標語」・中学生「税についての作文」 … ⑯ |



公益社団法人栃木法人会

会長 山中 史郎

新年の

新年あけましておめでとうございます。

栃木法人会の皆様には今年もさらに躍進できることを心からご祈念申し上げます。

コロナ感染状況は高止まりの様相を呈しておりますが、社会生活は感染防止を図りながらも徐々に正常に戻りつつあると感じます。

昨年はコロナ感染の情報を鑑みながら、法人会各委員会・女性部会・青年部会のご協力を得て各事業を開催することが出来たことは栃木法人会の力強さを感じさせられました。その中でも参議院選挙の翌日の7月11日に開催されたジャーナリスト池上彰氏の「講演の集い」は大きな反響を呼び、たくさんの方々に参加していただきました。

また10月29日からの3日間、全国障害者スポーツ大会が栃木県で開催され、全国から選手3,300名が競技に参加されました。開会式のセレモニーでは秋篠宮文仁親王、皇嗣妃と全選手の見守る中、栃木県の高校生1,400人による栃木県の歴史を表現したダンスパフォーマンスは、圧巻なもの

があり若者たちの躍動に感動させられました。

さて今年は兎年です。どんな年になるでしょうか。

税務での大きな変革は何と言っても10月から施行されるインボイス制度でしょう。この制度は様々な会社経理に大きな変革が予想され、まだ見えてこない問題が山積されているように思えます。しかし世界のIT化、DX化は日本経済を待つてはくれません。我々中小企業も遅ればせながら少しずつでも変革していきましょう。

法人会会員の皆様にはコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻の影響からなかなか抜け出せない業種もたくさんあると思いますが、栃木税務署管内の栃木法人会3,500社の組織力を活用して、税務指導や仲間づくり・情報交換をしていただき、自社の発展に役立ていただければ幸いです。

結びに本年もより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新年あけまして おめでとうございます



藤岡地区会長

小林副会長

法人会の役割を果たし、地域経済の発展に寄与していきたい。



大平地区会長

植原副会長

地域経済発展の推進と、求心力を高めた法人会活動



栃木地区会長

若菜副会長

公益10周年、新たなスタート！成長、発展、頑張ってください。



石橋地区会長

山本副会長

インボイス制度開始元年！！コロナに負けず、各業界更なる発展を。



下野地区会長

江田副会長

オミクロン株毒性弱し、行動制限解除、法人会も元気が一番

ご挨拶

栃木税務署長

平 賀 純 二



令和5年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人栃木法人会の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、山中会長をはじめ役員、会員の皆様方には、法人会の活動を通じ、税務行政全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴会におかれましては、税知識の普及や会員企業及び地域社会の健全な発展のため、税務研修会をはじめ各種講演会の開催、租税教室への講師派遣、税に関する絵はがきコンクールの開催等、活発な事業活動を展開されておられます。このような活動は、税務行政に携わる私どもといたしましても誠に心強い限りであり、皆様方の献身的なご尽力に深く敬意を表する次第であります。

さて、いよいよ本年10月1日から消費税の適格請求書等保存方式、いわゆる「インボイス制度」

が導入されます。制度開始とともにインボイス発行事業者となるためには、原則として本年3月末までに登録申請を行っていただく必要があります。インボイス制度の導入に当たっては、適格請求書の準備やシステムの整備などが必要となる場合がありますので、登録を予定されている事業者の皆様方におかれましては、e-Taxを利用した速やかな登録申請にご協力をお願いいたします。

また、間もなく令和4年分の確定申告の時期を迎えます。スマートフォンを利用したご自宅等からのe-Taxを推進しておりますが、スマホ申告につきましても、青色申告決算書や収支内訳書に対応するなど利用範囲や利便性が更に向上しておりますので、是非ご利用いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに当たり、公益社団法人栃木法人会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご繁栄を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



高田副会長

壬生地区会長

これが日常と考え、しっかり経済を回しましょう。



眞瀬副会長

野木地区会長

コロナ感染拡大と円安厳しい社会情勢、多くの困難を乗り越えよう。



飯沼副会長

西方地区会長

うさぎ年は飛躍の年、充実した一年になりますように。



小倉副会長

岩舟地区会長

アフターコロナで大変革、変化を恐れず、挑戦の年です。



野原副会長

都賀地区会長

今年こそアフターコロナに向け前進あるのみ！



横田副会長

小山副地区会長

新年が平和でみんなが健康で過ごせる1年になりますように。

令和4年度 納税表彰式挙行

法人会長表彰 5名を表彰



関東信越国税局長表彰（11月1日 於：さいたま市）



栃木税務署長表彰

11月16日(水)、栃木税務署・栃木県栃木県税事務所並びに栃木税務署納税推進協議会の共催による、令和4年度納税表彰式が栃木商工会議所会館において挙行された。

表彰式は2部構成で開催され、第1部では納税表彰、第2部では、租税教育関係表彰として、中学生・高校生の作文表彰等が行われた。

納税表彰では、栃木税務署長表彰をはじめ、納税推進協議会を構成する税務9団体による会長表彰が行われた。当法人会関係者で栄えある表彰を受けられた方は次の皆様です。（敬称略・順不同）



公益社団法人 栃木法人会長表彰

関東信越国税局長表彰

副会長 小倉久緒

栃木税務署長表彰

副会長 小林勝夫
常任理事 小林一則

公益社団法人栃木法人会長表彰

栃木地区会地区常任理事	大澤光司
大平地区会地区理事	福富正浩
下野地区会女性部部长	大橋郁江
岩舟地区会地区理事	安藤芳雄
野木地区会地区理事	岡部美喜男

7つの間違い探し

※左の絵と右の絵には相違点が7カ所あります。見つかりますかな？（答えは11頁にあります）



第38回法人会全国大会(千葉大会)

10月13日に千葉大会に参加しました。本会からは山中会長、小倉の2名参加です。小山発の新幹線にて東京駅経由で参加。千葉市「幕張メッセ」に全国から約1,700人が集まり盛大な大会となりました。コロナ禍で対面での全国大会は3年ぶりです。千葉県の方々から温かく迎えていただきました。落花生や海の幸、和洋菓子など多くの産品を揃えて賑やかで熱気のある会場でした。特別講演のジャーナリスト安藤優子氏が「女性がテレビで働くということ」と題して学生時代からスタートした報道現場での大物政治家との出会いが印象的でした。若い女性であることを活かして当時の金丸幹事長自宅への単独取材や中曽根総理との対談内容は貴重なエピソードでした。海外の紛争地域や難民キャンプにも積極的に参加。「きちんと相手の話を聞く」ことが取材の基本。これが案外難しい。

全法連小林栄三会長、花島恭一千葉県連会長、阪田渉国税庁長官の挨拶に続いて、千葉県知事：熊谷俊人氏の千葉県への歓迎と観光PRの挨拶。その後、会員増強、高加入率長期間加入などの全国表彰式。なお、例年の観光は日程の都合により欠席。来年の会場は群馬県です。関係者の皆様に心より感謝いたします。

栃木法人会 副会長 小倉久緒



法人会全国大会（千葉市 幕張メッセ）にて



法人会全国大会・千葉大会 熊谷千葉県知事挨拶（幕張メッセ）にて



青年部会

第36回 全国青年の集い(沖縄大会)

11月24～25日に開催されました「第36回全国青年の集い 沖縄大会」へ栃木法人会青年部会員6名にて参加をさせていただきました。「ゆいまーる 未来をまもり、拓く」をスローガンに掲げたこの大会には、全国の青年部会員が一堂に会しました。

全国の各単位会で開催しており、青年部会活動の柱となっている子供たちへの租税教育については、地域の特色を活かした様々な先進的な取組がある事を改めて学びました。部会長ウエルカムパーティーでは全国の部会長と意見交換を行い、大変有意義な時間を過ごす事ができました。翌日の部会長サミットでは「部会員増強と会の活性化」がテーマとして掲げられ、青年部会員が年々少しずつ減少している現状を把握し、全国より集った部会長の皆様と意見交換を行いました。より濃い青年部活動を展開していくためにも、部会員の増強と、より魅力ある会としていくための各地の好事例が発表され、大きな刺激を受けました。



沖縄大会のスローガンにもある「ゆいまーる」は相互扶助を意味し、税の本質と同じであることを改めて認識しました。一堂に会した全国の仲間と共有した想いと、各地部会長との意見交換や学んだ先進事例を我々の地元での活動に活かし、青年部会の3本柱である「租税教育活動・部会員増強・財政健全化のための健康経営」により一層努めて参ります。

各地区会活動

(令和4年8月～12月)

栃木 女性部視察研修・エコキャップ回収運動

去る9月27日、女性部による視察研修を実施しました。まず、バス車内では、来年10月に開始されるインボイス制度の対応について学びました。その後の日光東照宮では、宮司による詳細な解説を受けながら境内を見学、特別祈祷や直会を体験しました。3年ぶりの視察研修は、会員相互の親睦を深める機会となりました。

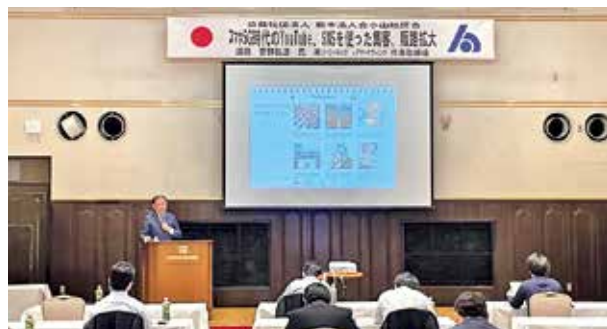


また11月22日には、恒例のエコキャップ回収運動を実施し、女性部の皆様に、異物等を取り除く分別作業を行っていただきました。今年は、例年以上に回収のご協力をいただくことができました。ご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。



小山 経営セミナー開催

11月4日、(株)ソーシャルメディアマーケティングの菅野弘達氏による「スマホ5G時代のYouTube・SNSを使った集客、販路拡大」をテーマにした経営セミナー開催。



同17日、石川税理士事務所代表の石川和男氏による「経理の基本と実務セミナー」を開催。



同21日、(株)はぴくく代表取締役の眞喜屋実氏による「販促すぐネタセミナー」を開催。

12月8日には税理士法人フューチャーコンサルティング代表の小澄健士郎氏を招き、インボイス対策と電子帳簿保存法について学びました。

いずれの回も皆熱心にメモを取りながら受講している姿が印象的で、中身の充実した研修事業となりました。

藤岡 セミナー開催・小学校に啓発文具進呈

去る11月16日（水）に藤岡地区の商工業者を対象に、業績向上・経営安定をテーマにセミナーを開催しました。

当日は多くの商工業者の皆様に参加していただき、盛況の内に開催することが出来ました。

また、今年度は藤岡地区内の小学校4校に対し、税金に少しでも興味を持って貰えるよう下敷き等の税金の啓発文具を進呈させていただきました。



石橋 創立10周年記念講演の集い開催

去る10月7日（金）石橋地区内の「グリムの館多目的ホール」にて、ヨシモト式コミュニケーションクリエイター篠原充彦氏を講師に迎え、『元吉本芸人が語る新感覚の対人スキル！営業に活かすツッコミュニケーション』と題し、コミュニケーション能力を養う吉本興業のお笑い研修プログラムを用いて講演会を開催しました。

開催当日は悪天候だったにも関わらず、大勢の方に参加していただき、篠原先生の明るく軽快なテンポでの講義は大好評でした。参加者各々が今後それぞれの事業へ活用していただければと思います。

その他、税に関する標語事業や女性部による清掃活動やエコキャップ回収運動も例年通り実施しました。



大平 税務研修会

11月25日（金）、中島由雅氏をお招きして税務研修会を開催いたしました。「インボイス制度の概要と実務対応のポイント」というテーマでした。令和5年10月から開始される制度について、法人企業、個人事業者の方が熱心に説明を聞いていました。参加者全員が「大変参考になった」と好評でした。



下野 講演会開催

去る10月20日、テレビでも有名な、小泉悠氏をお招きして、「ロシアのウクライナ侵攻による今後の日本への影響について」と題し、講演会を開催いたしました。

今、世界中の眼が向いているロシアによるウクライナ侵攻、日本への軍事的な影響はあるのかなどをお話していただきました。皆さん先生のお話を食い入るように真剣なまなざしで聞いていました。質疑応答では、積極的に質問が飛び交うなど、ユーモラスで分かりやすく、興味深いお話に満足な様子でした。



壬生 インボイスセミナー開催

去る10月5日（水）壬生町商工会館において、伊沢隆裕税理士事務所の伊沢隆裕先生をお招きし、「インボイス対策セミナー」を開催いたしました。

適格請求書発行の対応等、経営者目線でのお話をいただきました。参加者は、自身の事業所としてどう取り組む必要があるのか熱心に聴講され、大変有意義な講習会となりました。



岩舟 経営支援セミナー開催予定

9月13日、税に関する絵はがきコンクール地区審査会を実施し、岩舟小児童57作品の中から10点を選出しました。

また、エコキャップ回収運動では、90ℓポリ袋5袋分を回収し納品しました。

今後の事業計画としましては、1月に事業承継セミナー、2月にDX（デジタルトランスフォーメーション）セミナーを岩舟町商工会館で開催する予定です。どちらのセミナーも現代社会の経営課題として関心の高い内容となりますので、多数の方のご参加をお待ちしております。

野木 租税教育用下敷き及び小冊子の配布

野木地区会では、11月に租税教育用下敷きを町内全小学校児童に配布、また、町産業祭においても一般町民に配布しました。12月に

は法人会員等に小冊子「元気な心と体を保つ歩く健康法」及び「令和4年度ことしの税制改正のポイント」

の2冊を配布しました。なお、税務研修会を1月下旬に開催を予定しています。



都賀 エコキャップ回収運動実施

都賀地区会では、11月14日に都賀町商工会館駐車場において、女性部員の皆様と「エコキャップ回収運動」を行いました。各所から回収したエコキャップを洗浄し本会へ納入しました。当日はお天気にも恵まれ、和気藹々と活動することができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。



西方 租税教育用下敷き配布・啓発活動

今年度西方中学校に“けんたグッズ”と「租税教育用下敷き」を配布し、税金への興味・関心を持っていただく活動を行いました。また、11月27日には、「ど田舎にしかた祭り」において、役員による「法人会のご案内」などを配布して、啓発活動を行いました。



秋のセミナーを開催

【税務研修会】

9月21日に小山市内の会場において、税理士の千葉賀津子氏による「インボイス制度を見据えた電子帳簿保存」、10月4日には栃木市内の会場において税理士の小澄健士郎氏による『ここだけは押さえておきたい「インボイス制度」対策セミナー』の税務研修会を開催しました。来年10月1日より、インボイス制度の導入が予定されている中、多くの方が参加され、関心の高さが感じられました。

また、10月27日には、小山市内の会場において、「元気になる おもしろマネー（投資）塾」と題し、金融・投資教育コンサルタントの須原光生氏による講座を開催しました。iDeCoやNISA制度など言葉は知っているが、内容やこれからの環境などについて分からないことが多い投資の仕組みやライフプランに見合う運用法などを楽しく分かりやすく教えていただきました。



<経営セミナー>

9月27日、栃木市内の会場において、ブライツサイド（株）代表取締役武田斉紀氏による『リーダーが身に付けるべき「経営的視点」』と題しセミナーを開催しました。

「経営的視点」について、異なる立場による視点を詳しく講義していただき、参加された方々も熱心に耳を傾けていました。



女性部会

女性部会セミナーを開催

12月8日、栃木市内の会場において女性部会セミナーを開催しました。第1部は栃木税務署太田副署長による「国税庁の組織理念と取組」と題した税務研修会。女性ならではの経験を交えた話に参加者は熱心に耳を傾けていました。

第2部は、元刑事で特定社会保険労務士の恵島美生子氏による「経営者が知るべきハラスメント対策」と題したセミナー。警察時代の豊富な経験や事例を交え、わかりやすい説明が好評でした。



税の紙芝居作成



納税意識の高揚を目的とした、租税教育の一環として、税の紙芝居を作成いたしました。

様々な機会を利用して活用して参ります。

税制改正提言活動

法人会からの提言

少子高齢化、人口減少、1,000兆円の国債。 将来世代に先送りせず、財政の健全化を！

我が国財政は、先進国の中でなかで突出して悪化していたところに、100兆円近くともいわれる膨大なコロナ対策費が加わり、国債発行残高はついに1,000兆円の大台を突破しました。我が国は、先進国で最速のスピードで少子高齢化が進み、かつ人口が減少するという極めて深刻な構造問題を抱えています。このため、少なくとも国債で賄ったコロナ対策費の負担について、将来世代に先送りせず現世代で解決するよう返済計画を策定することが急務です。その他、持続可能な社会保障制度の構築、国・地方を通じて徹底した行財政改革の推進等も求めています。今回、この提言に基づき、各地区会を通じて、それぞれの自治体等に対して提言活動を実施いたしました。

令和5年度税制改正に関する提言

I 税・財政改革のあり方

1. 財政健全化に向けて
2. 社会保障制度に対する基本的考え方
3. 行政改革の徹底
4. マイナンバー制度

II 経済活性化と中小企業対策

1. 中小企業の活性化に資する税制措置
2. 事業承継税制の拡充
3. 消費税関係

III 地方のあり方

詳細は、（公財）全国法人会総連合HPをご覧ください。

令和5年度税制改正に関する提言 <http://www.zenokuhojinkai.or.jp>



左から 小林副会長、若菜副会長、大川市長、小倉副会長、植原副会長



左から 手塚理事、小菅町長、高田副会長、佐藤常任理事



左から 齊藤常任理事、横田副会長、浅野市長、山中会長、塚田理事、中澤理事



左から 眞瀬副会長、眞瀬町長



左から 山本副会長、江田副会長、坂村市長



左から 藤岡衆議院議員、籠谷理事

新会員のご紹介

〈令和4年7月～令和4年12月〉
ご加入ありがとうございます

地区会	会 社 名	住 所	代表者名
栃木	(株) 石 崎 組	吹上町833-1	石崎 久郎
〃	リラクゼーションサロン Rapport〜ラポール〜	箱森町51-27	渡辺由香里
〃	(株) シェノンテック	片柳町2-55-13	土市 優大
小山	カントトレーディング(同)	駅南町4-25-1 ハイグレート望光103	サイニ・ラビカント
〃	(有) エース・オート	美しが丘2-20-8	秋山 隆雄
大平	(株) h a n a	真弓1619-2	竹内 昂我

地区会	会 社 名	住 所	代表者名
大平	(株) I s s h i n	富田2073-13	内田 樹
壬生	リメイククリーン(株)	緑町1-15-14	向井 信人
〃	(有) ミ ュ ー マ ー	安塚884-1	谷島 成彦
岩舟	佐 瀬 設 備 工 業	静和2384-3	大越 勉
〃	(株) K O U T A K U	和泉1413-1	小倉 康男
〃	(株) 北関東パイオニア	曲ヶ島798-17	下田 昇

※期間中19社のご加入をいただきました。
当会ホームページ、機関誌による情報公開に同意された方を掲載しました。

会社名、代表者、所在地、資本金等 変更のご連絡について

会社名、代表者、所在地、資本金等の**変更**がありましたら、**法人会事務局までご連絡**ください。

TEL 0282-24-3500
FAX 0282-24-3288



変更届書

(公社)栃木法人会事務局 行

法人名	()		
所在地			
代表者名	()		
次の事項について変更があったので通知します。			
変更事項	変 更 前	変 更 後	変更年月日
<input type="checkbox"/> 法人名			
<input type="checkbox"/> 所在地			
<input type="checkbox"/> 代表者名			
<input type="checkbox"/> T E L			
<input type="checkbox"/> F A X			
<input type="checkbox"/> 資 本 金			
<input type="checkbox"/> そ の 他			

令和4年度 会費納入のお願い

会費をまだ納入されていない会員様におかれましては、お早めにお振込み下さいますようお願いいたします。

また、口座振替のお手続きをご希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。

TEL 0282-24-3500

今後の法人会の主な行事予定

1月19日(木)	下野地区会：時事講演会
1月20日(金)	(全法連) 新年賀詞交歓会
1月24日(火)	栃木地区会：新春講演会・新春懇談会
1月24日(火)	都賀地区会：インボイス制度対応セミナー
1月下旬	岩舟地区会：事業承継セミナー
未定	国税機関との協議会
2月7日(火)	栃木地区会：女性部会 税務・経営セミナー・新春懇談会
2月9日(木)	岩舟地区会：DXセミナー
未定	新設法人「法人税・消費税」申告説明会
未定	事務担当者会議
未定	青年部会セミナー
3月16日(木)	正副会長会議
3月17日(金)	局連 女連協第3回合同セミナー
下旬	大平地区会：経営セミナー

間違い探し『鳴神』の答え

- ①雷光(左上) ②鳴神上人の目線(左上) ③鳴神上人のアゴの隈(左上) ④紙垂(左中) ⑤鳴神上人の「炎柄」(中央)
⑥雲の絶間姫の袖の「雲の柄」(右中) ⑦笹(左下)

【作者紹介】 神谷一郎(かみや・いちろう) 専修大学法学部卒業後、漫画プロダクションを経て漫画家に。現在はフリーランスのイラストレーターとして、雑誌・広告・水彩画挿絵等で活躍中。

税理士会コーナー

インボイス制度への登録の要否

インボイス制度は、令和5年10月1日から始まります。この制度開始と同時にインボイス発行事業者になるためには、原則として令和5年3月31日までに登録申請を行う必要があります。消費税の免税事業者である方も含め、重要な判断をしなければならない期日が迫っています。そこで、今回はインボイス制度への登録に迷われている方の登録の要否の判断基準についてお話しします。

- 1 インボイス発行事業者の登録要否の判断
インボイス発行事業者の登録を受けるかどうかは事業者の任意です。現在免税事業者の方であっても、事業の内容などに応じて登録を受けるかどうか検討しましょう。
 - ① 売上先が一般の消費者や免税事業者の場合、インボイスを必要としません。
 - ② 売上先が簡易課税制度を選択している課税事業者の場合も、売上先はインボイスを必要としません。
 - ③ 簡易課税制度ではない課税事業者である売上先は、仕入税額控除をするために貴社が交付するインボイスの保存が必要です（制度開始から3年間は、仕入税額の80%、その後3年間は50%の控除ができる経過措置があります。なお、この期間終了後は貴社からの仕入れについて仕入税額控除が出来なくなります。
- 2 インボイス発行事業者の登録をした場合としなかった場合の注意点
 - ① 登録をした場合、売上先からインボイスの記載条件を満たした請求書等を求められたときは、記載要件を満たしたインボイスを交付する必要があります。
 - ② 免税事業者の方であっても、登録をすると、課税事業者として消費税の申告が必要となります。
 - ③ 登録をしている間は、基準期間の課税売上高が1,000万円以下となっても免税事業者となることはなく、課税事業者として申告が必要となります。
 - ④ 登録をしなかった場合、インボイスを交付できません。しかし、登録を受けない場合でも、インボイスに該当しない請求書等は交付できます。

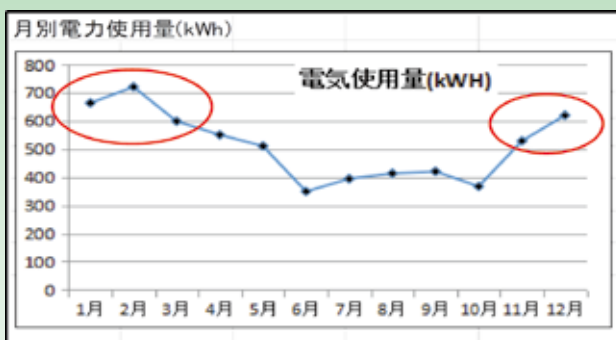
紙面の都合上、詳細については記載しきれない部分がありますが、この機会にインボイスについて検討してみてはいかがでしょうか。

※ 参考資料 国税庁「インボイスチェックシート」

第34回 エコライフ講座

「環境家計簿」で節電ポイントを見つける

天然ガス供給減、コロナによる物流の停滞、極端な円安、など大きな要因が重なり、電気代は2年前に比べて、約1.5倍位にまで高くなった。政府は1月から、電気代を、1キロワット時あたり、7円の割引（負担軽減策）をスタートしたが、この策もいつまでも続くわけではなく、私たち消費者自らの努力も必要です。今回はそのひとつのツールとして、私が下野市で活動している「環境家計簿」を紹介します。環境家計簿とは、毎月の電気使用量（キロワット時）や灯油・ガスなどの使用量を解析して、消費の中から何が課題かを見つけるものです。例えば、夏の冷房ばかり気にしていたが、実際には冷房の使い方は大変良く、その反対に冬の暖房の使い方が問題、だとわかり、「暖房設定温度を20℃位に抑える」「衣服を1枚余計に着る」「カーテンや窓の遮熱シートで断熱する」など冬の対策例を紹介し、節電につながった例もあります。詳しくは栃木県環境カウンセラー協会のホームページを参照し電気代削減にお役立ていただければ、と思います。



NPO法人栃木県環境カウンセラー協会 野沢 定雄

さあ **自宅** で **e-Tax!**

作成コーナー



確定申告書等作成コーナー から

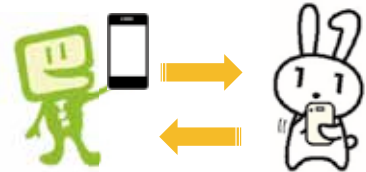
自動計算

画面の案内に沿って入力するだけで作成・送信♪



自動入力

マイナポータル連携でデータをまとめて入力♪



自宅から

確定申告はご自宅で！スマホで申告できます♪



「自宅からのe-Tax」5つのメリット！

税務署への持参



不要

印刷・郵送代



不要

添付書類



不要※

※一部の書類は除きます

確定申告期間の利用可能時間



**24時間※
いつでも**

※メンテナンス時間
を除きます

還付金



**早期
還付**

3週間程度で還付！

書面提出の場合は
1か月～1か月半程度で還付

確定申告書等作成コーナーの入力方法は動画でチェック



スマホ申告



医療費控除



マイナンバーカード方式

こちらからアクセス！



確定申告 動画



栃木法人会よりインターネットセミナーのご案内

栃木法人会のホームページから無料でセミナーがご覧いただけます

<http://tochiho.sakura.ne.jp/>

ID・パスワードは

会員ID: **0707** パスワード: **3500**

会員の方は600タイトル以上のセミナーが無料で受講できます

	セミナー名	講師	分数		セミナー名	講師	分数
研修・人材育成	NEW 赤坂璃宮の元教育担当者が語るスタッフの士気を高める「教育の極意」	佐野 由美子	59分	一般経営	これからの企業ブランディング	福井 崇人	43分
	NEW 刑事メンタルでピンチをチャンスに(9)	森 透匡	4分		世界のビジネスエリートが知っている教養としての茶道	竹田 理絵	33分
	社労士が考える 円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション術	大野 ゆかり	33分		刑事(デカ)すぎるスキルをビジネスに	森 透匡	41分
	良好な信頼関係を築く 叱る側、叱られる側の心構え(後編)	外川 智恵	35分		「鎌倉殿の13人」主人公 北条義時に学ぶナンバー2学(前編)	福永 雅文	40分
	新規開拓営業力強化セミナー	高田 稔	40分		中小企業のSDGs経営入門	小野瀬 由一	49分
労務	中小企業でもできる多様な価値観に対応した「新しい働き方・休み方」の推進	増田 豊	40分	税務・経理・財務	初心者でもよくわかる! 簿記・経理入門セミナー	小野 恵	83分
法律	労働問題で足をすくわれない経営を目指して	米澤 章吾	61分		社長と会社にお金を残すためのバランスシート経営	海生 裕明	110分
健康	和食伝承師(R)から見た「食と健康」 NEW (4)「食と健康」の話	上神田 梅雄	23分	政治経済	NEW SDGs入門講座 ～親子でできる・家庭でできるSDGs～	福田 多美子	45分
実務家	どこにも負けない! ものづくりへの挑戦	浜野 慶一	84分		地方創生に向けたSDGs推進	影山 貴大	54分

掲載講師やタイトルは変更になる場合がございます。
掲載されているタイトルは、ご覧いただけるものの一部です。

お問い合わせは栃木法人会事務局まで **TEL:0282-24-3500**

第11回 税に関する絵はがきコンクール

今年度、税に関する絵はがきを募集しましたところ、503点(13小学校)の作品の応募をいただき、ありがとうございました。

同コンクールは、小学6年生を対象に、税に関する絵はがきの作成を通じて、税の大切さを学び、税に対する理解を高めてもらうと実施しています。

この度、女性部会を中心に厳正な審査を行い、会長賞・栃木税務署長賞・栃木県税事務所長賞・女性部会長賞など、合計20点の素晴らしい入選作品が決定しました。入選された児童の皆様、おめでとうございます。



前列: 受賞者
後列: 左から 松本女性部会長、国府谷校長、平賀栃木税務署長



左から 山中会長、受賞者



左から 受賞者、深谷栃木県税事務所長

★ 入賞作品紹介 ★

会長賞



小山市立間々田小学校 6年
外間 芽生咲さん

栃木税務署長賞



栃木市立栃木中央小学校 6年
藤田 ななさん

栃木県税事務所長賞



栃木市立栃木第四小学校 6年
川津 ひなたさん

女性部会長賞



栃木市立栃木中央小学校 6年
田所 陽向さん

金賞



下野市立南河内小中学校 6年
長谷 大和さん

金賞



栃木市立栃木中央小学校 6年
日向野 明香里さん

金賞



下野市立緑小学校 6年
小池 杏奈さん

銀賞



下野市立南河内小中学校 6年
大嶋 零音さん

銀賞



下野市立南河内小中学校 6年
鶴見 心さん

銀賞



栃木市立岩舟小学校 6年
森 心美さん

銀賞



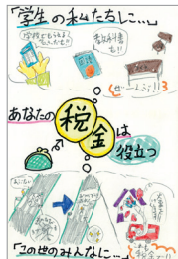
栃木市立栃木中央小学校 6年
萩原 祐熙さん

銀賞



下野市立緑小学校 6年
日吉 瑠夏さん

銅賞



小山市立間々田小学校 6年
菅原 彩花さん

銅賞



壬生町立稲葉小学校 6年
五月女 悠人さん

銅賞



栃木市立岩舟小学校 6年
今井 優理菜さん

銅賞



栃木市立岩舟小学校 6年
岡田 琉良さん

銅賞



下野市立緑小学校 6年
井上 小太郎さん

銅賞



栃木市立大宮南小学校 6年
早乙女 心音さん

銅賞



小山市立豊田小学校 6年
黒川 七香さん

銅賞



栃木市立栃木中央小学校 6年
須藤 奏さん



公益社団法人 栃木法人会

主催

公益社団法人 栃木法人会 女性部会
公益財団法人 全国法人会総連合

後援

国税庁

小学生「税に関する標語」・中学生「税についての作文」

応募作品1,696点より栃木法人会長賞を贈る

栃木法人会長賞

下野市立石橋北小学校6年

『税金は みんなのお金 大切に』

高橋 勇氣さん



「税に関する児童の標語」表彰式

標語入賞された他の作品は次のとおりです。

栃木税務署長賞

工藤 颯姫さん 下野市立石橋小学校6年

『見わたせば 暮らしによりそう みんなの税』

下野市長賞

松元 瑞希さん 下野市立細谷小学校6年

『税金で ふえる笑顔の まちづくり』

下野市教育長賞

松原 康太さん 下野市立古山小学校6年

『消費税 ほくらも立派な 納税者』

中学生の「税についての作文」

栃木法人会長賞

栃木市立岩舟中学校3年

『身近に感じた税金』

小倉 大芽さん

私の祖父が今年の5月、玄関で転倒し骨折をした。骨折が分かったのは数日後だったので、その間私たち家族はとても不安になった。

なぜなら、今まで歩いていた祖父が突然歩くことが全くできなくなったからだ。母はまず市の包括支援センターを頼った。そこではすぐに介護用のベッドとポータブルトイレの手配をしていただいた。母は対応が早くとても嬉しかったと言っていた。その後、要介護3の判定が出て、今はデイサービスに通っている。

祖父が転倒してから、市のサービスをたくさん

頼ってきた。まずは、救急車だ。救命士の方が祖父の状態を聞き、病院の手配をし、病院まで連れて行ってくれた。救急車が出動するのに45,000円ほどかかるそうだ。そのお金は税金でまかなわれていると聞き、みんなの税金によって助けられ、感謝の気持ちをもった。税金を身近に感じたのは初めてだった。要介護3が出ると、介護用品や、サービスの利用料の1割を負担するだけでよいらしい。私の家は玄関の手すりやトイレの手すりを取り付ける工事をして、祖父の歩行の手助けになるようにしている。デイサービスも1割負担だ。デイサービスに通う前は自宅で私が風呂に入れていたが、やはり転倒の危険があるので怖かった。今は、デイサービスできちんとした施設が整った風呂に入ってきている。私も祖父もお互いに安心して良かったと思っている。

今回、市のサービスを利用すると知って疑問に思ったのは、1割負担の残り9割は誰が支払っているのだろうかということだ。母は以前、「将来使うかどうか分からない介護保険料をどうして支払うのかなあ。」と言っていた。健康な時は不満に思っていた介護保険料も、利用するようになってやっと意味が分かった。そう、残りの9割はみんなが納めた税金でまかなわれているのだ。救急車も消防車も税金、人が生れてから死ぬまで税金でまかなわれるサービスを利用しない人はいないのだ。

3年生になり、公民で日本国憲法を勉強する。そこには国民の権利及び義務が書かれている。「個人として尊重されるが、勤労の義務、納税の義務」としている。祖父は長年家族のために働き、納税の義務も果たしてきた。その祖父が人として尊重される生活を支えてくれるのは税金なのだと改めて感じた。私たちはたくさんの人々に支えられている。私はそのことを忘れずに、家族や友人、周りの人を支えられるような大人になるために努力をしていきたい。